



北斗句会

五月定例会（メール句会） 兼題「雨」「葉」

五十音順 特選は特選 石田きよし選

特選 若葉風夫婦地蔵の木曾路かな 大崎石州

人出なきコロナ禍の街柳絮とぶ 太田黒幸風

風光る東西睨む鬼瓦 大森康政

松落葉アドレスひとつ削除せり 竹内雲泉

特選 みちのくはコロナ知らずの鯉幟 田中資凡

緑立つ磯の溜りの深き空 長池豆陽

人の世の騒ぎをよそに蔦若葉 深見十方

特選 奥入瀬の阿修羅に若葉明りかな 藤田紀潮

葉桜の気持ち読みけり幹撫づる 宮下ひかる

天麩羅の柿若葉もて昼の酒 森田光彦

葉桜の光と影の交差かな 山縣秀雄

山頂の茶店で喫す新茶かな 吉岡誠山



無観客試合のやうな花吹雪 石田きよし